

2017 年春 ミツバツツジが彩る 西六甲縦走路を歩く 2017.4.19.

ミツバツツジが岩尾根を彩る須磨アルプス 馬の背

久しぶりに梅尾山階段を登って 梅尾山・横尾山から馬の背から東山



須磨アルプス 六甲全山集草路に咲くミツバツツジ



春の芽吹きで 日に日に若草色を変えてゆく須磨アルプス

新緑 須磨の春 2017 風薫る 5 月

海も野山も街も新生の息吹 若草色に染まりゆき

草木燃え 吹き来る風が心地よい 元気に外へ飛び出そう!!

私の住む神戸須磨区妙法寺地区は南の海岸線に立ち並ぶ西六甲 須磨アルプスの山並みの北側にあり、四季折々美しい姿をみせ、毎日の散歩コースには事欠かない。なんともご紹介した山並みですが、この西六甲の縦走路では今ミツバツツジがピンクの花を咲かせています。

毎日変わりゆく新緑の中 須磨の海を見晴らす岩稜の縦走路の岩陰に咲くピンクのミツバツツジの落ち着いた美しさにびっくり。

何度も通う縦走路ですが、満開のミツバツツジが彩る縦走路は記憶になく、デジカメでパチリパチリ。スライド動画にして楽しんでいます。家から歩きだして、約 3 時間ほどの山歩き 須磨の春の一コマを紹介。



横尾山側からの馬の背・東山の縦走路で



横尾山山頂付近で
須磨アルプスの縦走路に咲くミツバツツジ



東山からの馬の背・横尾山の縦走路

2017. 4. 19.

《 須磨アルプスの縦走路を飾るミツバツツジ 2017.4.19. 》



《 ミツバツツジが岩尾根を彩る須磨アルプス 馬の背 walk 2017.4.19. 》

久しぶりに梅尾山階段を登って 梅尾山・横尾山から馬の背から東山へ

春の野山の「ミツバツツジ」 花言葉は 節制・平和など。六甲の春を代表する花。最近では少なくなりましたが、やせた尾根や岩場、里山の雑木林などで、春美しい紅紫色の花を咲かせる。子供の頃 仁川・逆瀬川や奥池などの六甲ハイキングで見かけた美しい光景が記憶にある。今 芽吹きを迎えた須磨の里山のあちこちでもピンクの花を咲かせています。

すぐ隣の若草山の岩崖にもピンクのミツバツツジが美しく咲きだし、毎日見る須磨アルプスも芽吹いて 山体を日に日に若草色に変え、真っ青な空に 心地よい春の風に乗って鳥たちの声 元気な新一年生たちの列が春の草花に彩られた街角を通り過ぎてゆく。5月 新生の息吹に触れて 心もリフレッシュ。

須磨の春 六甲の縦走路の春を代表するピンクのミツバツツジ ふと須磨アルプスのミツバツツジに出会いたくなって、午後のWalkは 久しぶりに梅尾山の直登階段を登って 須磨アルプス 馬の背の縦走路を歩くことに。2017.4.19. 晴天の午後 ポケットにペットボトルを入れて歩き出す。



● 横尾道から柵尾山登り口の柵尾山直登階段へ
柵尾階段を登って柵尾山から東へ横尾山・馬の背を目指す



柵尾山への直登階段がある多井畑池の奥上のＴ字路 東の横尾道北 多井畑 南 須磨離宮へのＴ字路

ミツバツツジは花崗岩質の六甲連山の春を代表する花。でも、山に入るとどこでもこの時期見られるので、今まで気にしたことなく、この須磨アルプスの全山縦走路についても、咲き誇るミツバツツジの記憶はない。

昨春 但馬の山道で見たミツバツツジがきれいで、強く印象に残り、ミツバツツジが咲く時節になって、子供の頃の記憶もあり、「今年は是非 どこか六甲で 登山道に咲くミツバツツジに出会い、しっかり記録したいなあ。」と。その手始めみたいな感じの須磨アルプス散策である。



横尾山に沿って山裾を西へ 横尾道を歩く(1)



横尾山直下 野路菊の丘の下で 2017.4.19.

妙法寺駅から南へ団地を抜けて 横尾山の山裾に沿って横尾道を西へ 柵尾山への直登階段がある多井畑池の奥上のＴ字路へ向かう。横尾山の頂上をながめながらの walk。

横尾山はどこからでも登れそうなのですが、見上げる頂上への枝尾根の崩壊が激しく、西六甲の全山縦走路以外には、ハイキングコース程度だと思って迷い込むと厳しい。啓明学園の横の横尾道からは まっすぐ野路菊の丘から岩尾根を横尾山へ登る比較的はっきりしたルートがあるのですが、今日は横尾山のもう一つ南の柵尾山の登り口 直登階段から西六甲全山縦走路に入り、柵尾山から横尾山・馬の背を縦走して、また 横尾道・妙法寺駅に降りる。啓明学園の生徒たちが、新緑の山裾を一齐にランニングに駆けてゆく。若い人たちの元気な姿に出会えるとうれしくなる。すぐ高倉台の角 柵尾山の直登階段の登り口だ。



道前方左手に柵尾山が見える

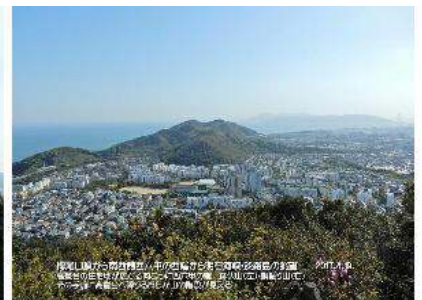
横尾山に沿って山裾を西へ 横尾道を歩く(2)



道前方右手に鉄樹山・旗振り山の山並み

道前方左手に柵尾山が見えてくるとすぐ 柵尾山登り口の鉄樹階段 2017.4.19.

西側旗振り山・おらが山を下って高倉台の住宅口を抜けてきた西六甲全山縦走路が、この県道 53 号線を渡ったところが、きつい梅尾山への階段登り口。山腹に約 400 段のコンクリート階段が梅尾山の稜線へ一直線。振り返ると須磨の市街地・海・須磨海岸に落ちる六甲の山並みが一望できる。また、階段の上から、林の中を抜けるとすぐ、梅尾山の山頂で、眼下には西六甲西端の鉢伏・旗振り山をバックに須磨高倉台の住宅地そして広く神戸の市街地から明石海峡・淡路島そして播磨灘の西神戸の展望が開ける。



梅尾山の山頂から眺めた南側の眺望。東に神戸市街地から西の明石海峡・淡路島までの海岸線が見渡せる。2017.4.19。
眼下には須磨高倉台の団地が広がり、この梅尾山から西に連なる鉄拐山・旗振り山の縦走路の西端の山が見える



六甲全山縦走路 梅尾山の登り口 梅尾山直登階段 2017.4.19。
山腹に約400段のコンクリート階段が梅尾山の稜線へ一直線。振り返ると須磨の市街地・海・須磨海岸に落ちる六甲の山並みが一望できる。

● 横尾山-横尾山/馬の背のコル(西六甲越の峠)-馬の背へ



横尾山側からの馬の背・東山の縦走路で

横尾山山頂周辺で

東山からの馬の背・横尾山の縦走路

須磨アルプスの縦走路に咲くミツバツツジ 2017. 4. 19.



樹林の中を抜けると岩峰が並ぶ馬の背。中央に馬の背が見える。2017.4.19.



岩稜 横尾山から馬の背の縦走路に咲くミツバツツジ 横尾山の鞍部の峠への降り路で



馬の背の狭い縦走路から切れ落ちた両側の谷の岩壁にはいっぱいミツバツツジがさいていました



馬の背側から 横尾山のきつい岩稜縦走路



馬の背 切れ落ちた谷にミツバツツジの花



馬の背から東山への岩稜の縦走路



馬の背 縦走路から東山を眺める



馬の背



馬の背 縦走路から西の横尾山を眺める

馬の背を渡り終えて ふぅ〜と一息 横尾山からの厳しい稜線を振り返る
馬の背の岩稜の西六甲縦走路が須磨アルプスと呼ばれるにふさわしい



馬の背を渡り切り、振り返って 馬の背から横尾山に延びる縦走路を眺める



馬の背を過ぎるとさらに西へ樹間を下って東山の鞍部へ 再度登り返して、東山へ



東山山頂は樹木に囲まれた小さな広場 樹間の間からは四方が見渡せる

東山は東の高取山に向かう六甲全山縦走路と北の横尾道・妙法寺 南の板宿方面への分岐点。陽が長くなりましたが、午後5時近くになり、ここから北の横尾道・妙法寺駅へ一機に下る。

● 東山 須磨アルプスの縦走路を歩き、また横尾道・須磨駅へ戻る



東山からは南から西へ 須磨海岸から横尾山の山並み 北から東へ 須磨・名谷の団地群そして 東の麓には高取山が見える
いつも眺める須磨アルプスを反対側から眺める 2017.4.19.



いつも眺める須磨アルプスを反対に北の横尾・妙法寺方面を一望 若草山から鶴台 そして 自宅も正面に



須磨アルプス 横尾山から馬の背への縦走路 荒々し岩稜に咲くミツバツツジツツツ 2017.4.19.



17:30 妙法寺横尾道 須磨アルプス登山口に降りる 2017.4.19.

須磨アルプスの縦走路に こんなに多くのミツバツツジが咲いているなんて!! 初めて気が付きました。

いつもの思い付きで歩いたのですが、一番きれいな時に歩けたようだ。

うれしいミツバツツジの縦走路。

それも子供の頃の記憶につながる岩稜に咲くミツバツツジの春景色。

本当にラッキー!!

爽快感いっぱい横尾道に出てきました。

ほんの午後のひと時 須磨アルプス walk の魅力です。

2017.4.19. 17:30 夕刻

妙法寺横尾道 須磨アルプス登山口で Mutsu Nakanishi

